



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL <https://www.e-extreme.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

百万円未満切捨て

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,428	11.1	334	△18.0	362	△5.8	267	10.6
2021年3月期第2四半期	3,085	△12.4	407	△47.4	385	△40.6	242	△42.9

（注）包括利益 2022年3月期第2四半期 310百万円（16.6%） 2021年3月期第2四半期 265百万円（△36.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	48.93	48.62
2021年3月期第2四半期	44.42	44.01

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,879	3,634	68.6
2021年3月期	4,747	3,416	66.2

（参考）自己資本 2022年3月期第2四半期 3,349百万円 2021年3月期 3,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.3	330	△53.1	350	△53.4	242	△50.6	44.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	5,479,976株	2021年3月期	5,456,776株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	800株	2021年3月期	690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	5,475,399株	2021年3月期2Q	5,454,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ワクチン接種の促進など新型コロナウイルス感染症拡大防止策が進むことにより、停止していた経済活動が徐々に再開され、持ち直しの動きも期待されますが、設備投資や個人消費には停滞感が強く、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループにおいては、一部の事業部門において在宅勤務を引き続き実施し、事態の長期化に備えつつ、当社社員が顧客先に常駐し、技術ソリューションを提供する「デジタル人材事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,428,972千円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は334,683千円（前年同四半期比18.0%減）、経常利益は362,816千円（前年同四半期比5.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は267,892千円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント名称を「ソリューション事業」から「デジタル人材事業」に名称変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一巡し、新規及び既存案件における受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は3,410（前年同期稼働プロジェクト数は2,922）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,285,301千円（前年同四半期比20.9%増）、396,078千円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にソリューション事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規」「保守」「保守開発」「EPARK事業」の4つに大別されます。

子会社の株式会社E P A R Kテクノロジーズ、株式会社エクストラボ及びEXTREME VIETNAM Co., Ltd.についても当該事業に含まれます。

当第2四半期連結累計期間においては、当社受託開発部門において発生した受注損失及びEXTREME VIETNAM Co., Ltd.において新規案件受注が想定通り進捗しなかった影響により、セグメント損失が発生いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,179,116千円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント損失は23,299千円（前年同四半期はセグメント損失68,906千円）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

当第2四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』の運営により、ライセンス許諾先である香港紫龍互娛有限公司及び上海紫舜信息技术有限公司を通じてゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生いたしました。

なお、スマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』に係るロイヤルティ収益の計上につきましては、各許諾地域における売上集計作業及びライセンス許諾先からの収益報告に一定の時間を要すること、契約上収益に係る報告サイクルが定められていることから当第2四半期連結累計期間における当該プロジェクトに係る収益は、2021年2月～7月の6ヶ月分となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は255,554千円（前年同四半期比23.5%減）、セグメント利益は221,560千円（前年同四半期比28.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,879,717千円となり、前連結会計年度比131,861千円の増加(前連結会計年度比2.8%増)となりました。これは主に、現金及び預金が18,367千円、投資有価証券27,913千円、関係会社株式130,000千円がそれぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が38,252千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、1,244,939千円となり、前連結会計年度比86,800千円の減少(前連結会計年度比6.5%減)となりました。これは主に、未払金が27,315千円増加した一方で、1年以内償還予定の社債18,000千円、未払法人税等が75,782千円及び長期借入金が14,280千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,634,777千円となり、前連結会計年度比218,661千円の増加(前連結会計年度比6.4%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方、配当金の支払により、利益剰余金が169,682千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ49,651千円増加し、1,846,000千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は317,140千円(前年同四半期は503,995千円の収入)となりました。これは、主に法人税等の支払額163,340千円があったものの、売上債権の減少額38,857千円及び税金等調整前四半期純利益362,816千円などにより資金獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は145,444千円(前年同四半期は24,114千円の支出)となりました。これは、主に関係会社株式の取得による支出130,000千円などにより資金使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は131,533千円(前年同四半期は274,184千円の支出)となりました。これは、主に配当金の支払額97,820千円などにより資金使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

デジタル人材事業については、部門毎の前期末稼働プロジェクト数をベースに、当期採用予定数及び離職率予想、新型コロナウイルス感染症による新規受注への影響などを勘案してプロジェクト数を算出した上で、稼働単価実績を参考に推定される収益を予想値としております。

受託開発事業については、前期における受注実績をベースに、新規・保守案件に大別し、新規案件は期末時点での受注済み案件及び受注確度が高い案件の積み上げにより、予想値を算出しております。保守案件については、前期末時点において継続中の案件及び1契約当たりの契約金額を抽出し、その積み上げによって予想値を算出しております。子会社(株式会社E P A R Kテクノロジー)における売上高については、株式会社E P A R Kと子会社の間で締結された業務委託契約の内容を勘案し予想値を算出しております。

コンテンツプロパティ事業につきましては、ライセンス事業が主な収益源となっておりますが、前期におけるライセンス許諾ロイヤリティ実績及びライセンシーの独自予測を参考に算出した数値を予想値としております。以上の結果から、2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月13日の「2022年3月期決算短信[日本基準](連結)」発表時の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,777,970	1,796,338
受取手形及び売掛金	1,039,615	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,001,362
有価証券	11,395	41,337
仕掛品	63,824	37,327
その他	106,935	111,881
貸倒引当金	△4,694	△4,279
流動資産合計	2,995,046	2,983,968
固定資産		
有形固定資産	57,585	52,898
無形固定資産		
ソフトウェア	83,543	86,741
ソフトウェア仮勘定	210	11,791
のれん	70,499	62,000
無形固定資産合計	154,252	160,533
投資その他の資産		
投資有価証券	1,274,753	1,302,667
関係会社株式	—	130,000
その他	273,585	257,017
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	1,540,971	1,682,317
固定資産合計	1,752,809	1,895,749
資産合計	4,747,856	4,879,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	18,000	—
1年内返済予定の長期借入金	30,560	28,560
未払金	521,339	548,654
未払法人税等	158,007	82,224
賞与引当金	118,998	123,484
その他	189,554	181,015
流動負債合計	1,236,459	1,163,939
固定負債		
長期借入金	95,280	81,000
固定負債合計	95,280	81,000
負債合計	1,331,739	1,244,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	416,031	417,771
資本剰余金	409,838	411,578
利益剰余金	2,317,638	2,487,321
自己株式	△951	△1,082
株主資本合計	3,142,557	3,315,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,015	25,741
為替換算調整勘定	4,310	7,886
その他の包括利益累計額合計	294	33,628
新株予約権	7,152	13,445
非支配株主持分	266,111	272,114
純資産合計	3,416,116	3,634,777
負債純資産合計	4,747,856	4,879,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,085,324	3,428,972
売上原価	2,102,934	2,501,433
売上総利益	982,389	927,539
販売費及び一般管理費	574,450	592,856
営業利益	407,939	334,683
営業外収益		
受取利息	15,396	20,456
為替差益	—	5,082
助成金収入	2	330
損害賠償収入	—	2,162
その他	521	1,657
営業外収益合計	15,919	29,688
営業外費用		
支払利息	1,436	871
為替差損	34,233	—
受益権売却損	865	296
支払手数料	960	383
その他	1,235	3
営業外費用合計	38,731	1,555
経常利益	385,127	362,816
税金等調整前四半期純利益	385,127	362,816
法人税等	141,362	86,138
四半期純利益	243,765	276,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,477	8,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,287	267,892

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	243,765	276,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,081	29,757
為替換算調整勘定	△1,018	3,576
その他の包括利益合計	22,063	33,333
四半期包括利益	265,828	310,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,350	301,225
非支配株主に係る四半期包括利益	1,477	8,785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,127	362,816
減価償却費	20,078	23,024
のれん償却額	34,904	10,046
賞与引当金の増減額(△は減少)	△919	4,485
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,339	△415
受取利息	△15,396	△20,456
支払利息	1,436	871
為替差損益(△は益)	27,813	△7,382
投資有価証券評価損益(△は益)	1,030	△719
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△138
売上債権の増減額(△は増加)	291,969	38,857
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,263	26,517
長期未収入金の増減額(△は増加)	△3,136	△1,299
未払金の増減額(△は減少)	△179,079	24,624
その他	12,199	1,238
小計	563,425	462,069
利息の受取額	15,267	19,189
利息の支払額	△1,438	△778
法人税等の支払額	△73,259	△163,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,995	317,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,045	—
定期預金の払戻による収入	227,985	—
有形固定資産の取得による支出	△6,327	△4,200
無形固定資産の取得による支出	△20,591	△26,678
投資有価証券の取得による支出	△105,135	—
投資有価証券の売却による収入	—	15,435
関係会社株式の取得による支出	—	△130,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,114	△145,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△19,986	—
長期借入金の返済による支出	△26,280	△16,280
社債の償還による支出	△22,500	△18,000
自己株式の取得による支出	—	△130
株式の発行による収入	—	3,480
配当金の支払額	△195,255	△97,820
非支配株主への配当金の支払額	△5,262	△2,782
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,184	△131,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,212	9,489
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	181,483	49,651
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,916	1,796,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,789,399	1,846,000

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,635,763	1,115,435	334,126	3,085,324	—	3,085,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	255,191	4,997	—	260,188	△260,188	—
計	1,890,955	1,120,432	334,126	3,345,513	△260,188	3,085,324
セグメント利益又は損失 (△)	413,777	△68,906	311,506	656,377	△248,437	407,939

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,004,873	1,168,544	255,554	3,428,972	—	3,428,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	280,427	10,572	—	290,999	△290,999	—
計	2,285,301	1,179,116	255,554	3,719,972	△290,999	3,428,972
セグメント利益又は損失 (△)	396,078	△23,299	221,560	594,340	△259,657	334,683

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、「ソリューション事業」を「デジタル人材事業」に名称変更をいたしました。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。